Original article published in English in Newsweek on January 21th, 2021. Written by The Worldfolio

足袋のスペシャリスト　丸五

「Make it new ～ 未来へつながる価値共創を」をメッセージとし、足の親指を自由にする価値を世界に示すべく、丸五は毅然とした態度で臨んでいる。

MARUGO TOKYO

1919年、岡山県倉敷市で創業した株式会社丸五（以下、丸五）の歴史は、素足のように自由で確かな足裏のグリップを実現するゴム底と、日本の伝統的なソックスである足袋を組み合わせた地下足袋から始まる。この会社のもう一つのユニークな組み合わせはその社名にある。２つの日本語の単語、サークル（丸）と５（五）を組み合わせたもので、５はオリンピックゲームの持つ５つのリングという概念に敬意を示している。当時の、日本のマラソンランナーはオリンピックで足袋シューズを履いていたそうだ。

安全スニーカー

地下足袋は、長い間農林業や建設業、鉱業などの産業界でも古くから愛されており、日本の産業近代化を支える重要な役割を担ってきたといえる。この会社はここ数十年では、地下足袋に加え、従来の黒色の重厚な安全靴に代わる個人防護具として「安全スニーカー」という新しい市場を開拓している。同社は、日本国内の最新鋭の工場で高品質の足袋シューズを生産し、同時に海外の関連工場で安全スニーカーを生産している。

オリンピックの精神に基づき、丸五は世界各地に目を向けている。藤木茂彦会長は、安全スニーカーの取り組みについて、「お客様と直接つながっている商社や、e-tradingのプラットフォームとコラボレーションしていきたい」と語る。このように、デザインやブランドイメージを大切にしたうえで、現地で生産、配送することで、できるだけお客様に近づくという考えだ。

足袋シューズ

日本人は長寿で知られ、その長寿は食事や健康的なライフスタイルと本質的に結びついている。丸五は、足親指の自由性、屈曲性、通気性など、さまざまな特徴を持つ足袋シューズを提供することで、健康的なライフスタイルを提案することを大きな目標としている。そして、健康な生活を維持するため、職場や社会環境へ快適性と安全性のある高品質な製品を提供することが、100年以上の歴史を持つ丸五の重要な使命である。

「創業以来の伝統を受け継いでいることが誇りです」

株式会社丸五 代表取締役会長 藤木茂彦

MARUGO
make it new
www.marugo.ne.jp/en